

# とっとり 市議会 だより

2月定例会を、2月26日から3月24日までの27日間にわたって開催しました。本定例会では、平成22年度当初予算、平成21年度2月補正予算など議案85件が提案されました。当初予算については、予算審査特別委員会を2月26日に設置し、総括質疑、分科会での審議を行いました。

また、本定例会では、代表質問には5会派、各個質問には26人、計31人の議員が登壇し、活発な議論が展開され、「地域活性化・きめ細やかな臨時交付金」を活用した各種事業、「鳥取市グリーンニューディール基金条例」の制定、「鳥取市国民健康保険条例」の改正などについて審議を行い、全議案とも原案のとおり可決・同意しました。

### 主な記事

平成22年度当初予算決まる……………	P 2～P 3
代表質問……………	P 4～P 5
各個質問……………	P 6～P 11
議会改革等検討会中間報告・議会ピックス…	P 12
請願・陳情・議会クローズアップほか…	P 13
提出議案と結果・お知らせ……………	P 14

No.148

平成  
22年

2月

定例会号



春の陽差しを浴び、心躍る季節となりました。

(鳥取市 小谷 準一さん 提供)

表紙写真を募集しています。詳しくは14Pをご覧ください。

議会に関するご意見・お問い合わせ

鳥取市議会事務局

〒680-8571 鳥取市尚徳町116番地 TEL(0857)20-3343 FAX(0857)20-3049  
E-mail:gikai@city.tottori.lg.jp

# 平成22年度当初予算決まる



起立による、当初予算の採決

市議会には、「市長が提案する予算や条例の可否を決定する」議決権が与えられており、議決に基づき、初めて予算や条例が具体化します。これにより、行政の透明性や公平性をチェックする役割や、自分の足で得た情報から生きた政策を提案する役割を担っています。

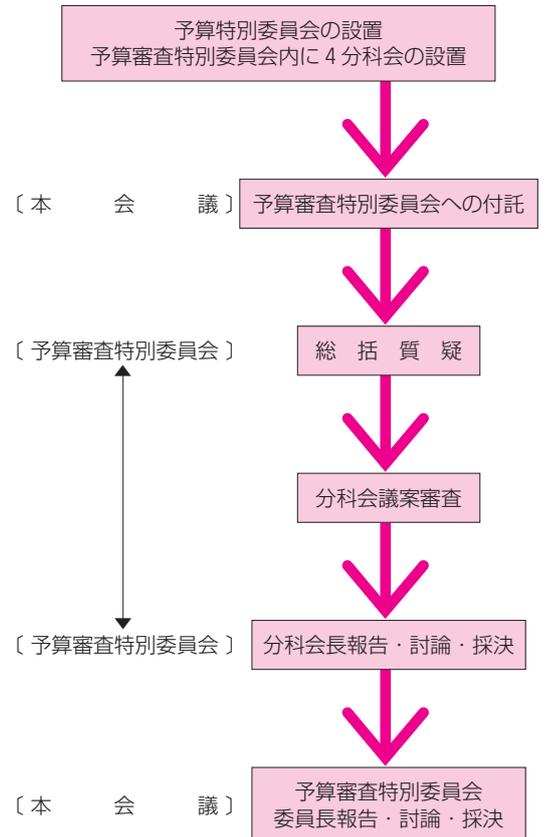
今定例会では、よりよい予算の審議をするため、予算審査特別委員会を設置し、その中で詳細な検討を行う分科会を置き、平成22年度当初予算の審査を行いました。議会が担っている役割をしっかりと踏まえ、当初予算について市民の目線で審査した結果、賛成多数で可決しました。

## 平成22年度の主要事業

- ・子ども手当事業
- ・保育園民営化運営事業
- ・環日本海交流支援事業
- ・五臓圓保存活用事業
- ・ジャンボタクシー運行助成事業

※平成22年度当初予算は市長選のため骨格予算となっています。

## 予算審査特別委員会の流れ



## 予算審査特別委員会

### 分科会の審査内容

#### 総務企画分科会

国際交流について

**問** 姉妹都市提携を結んでいる韓国・清州市の動向はどうか。また今後の交流をどう考えているのか。

**答** 清州市との行政間の交流は、依然中断されたままである。本市の対応としては、清州市が、今後、国家間の問題と市民交流とは別だということを明確にされない

かぎり、交流は再開しないという立場をとっている。

#### 福祉保健分科会

民生児童委員の充足について

**問** 来年度は民生児童委員の一斉改選が行われるが、充足についての取り組みについてどうか。

**答** 業務が多岐にわたるため、就任される方が少ないとは仄聞している。今後は

#### 文教経済分科会

企業誘致の促進について

**問** 長年にわたる景気悪化で、企業誘致には難しい課題があるが、今後どのように取り組んでいくのか。

**答** 本市既存の工業団地の活用等を含め、誘致企業の希望と本市の実情に即した社会資本の整備に努める。また産学連携など人脈の活用にも力を入れていきたい。

# 平成 22 年 2 月鳥取市議会定例会 附議案議決結果（予算 47 件）

議案番号	案 件 名	議決結果
4	平成22年度鳥取市一般会計予算（予算額 80,996,000千円）	原案可決
5	平成22年度鳥取市土地区画整理費特別会計予算（予算額 439,176千円）	原案可決
6	平成22年度鳥取市下水道事業費特別会計予算（予算額 9,471,510千円）	原案可決
7	平成22年度鳥取市簡易水道事業費特別会計予算（予算額 612,557千円）	原案可決
8	平成22年度鳥取市公設卸売市場事業費特別会計予算（予算額 45,283千円）	原案可決
9	平成22年度鳥取市駐車場事業費特別会計予算（予算額 33,168千円）	原案可決
10	平成22年度鳥取市国民健康保険費特別会計予算（予算額 17,702,727千円）	原案可決
11	平成22年度鳥取市老人保健費特別会計予算（予算額 8,513千円）	原案可決
12	平成22年度鳥取市高齢者・障害者住宅整備資金貸付事業費特別会計予算（予算額 13,030千円）	原案可決
13	平成22年度鳥取市住宅新築資金等貸付事業費特別会計予算（予算額 86,573千円）	原案可決
14	平成22年度鳥取市土地取得費特別会計予算（予算額 10,752千円）	原案可決
15	平成22年度鳥取市墓苑事業費特別会計予算（予算額 24,265千円）	原案可決
16	平成22年度鳥取市集落排水事業費特別会計予算（予算額 2,827,577千円）	原案可決
17	平成22年度鳥取市介護保険費特別会計予算（予算額 14,397,120千円）	原案可決
18	平成22年度鳥取市財産区管理事業費特別会計予算（予算額 13,088千円）	原案可決
19	平成22年度鳥取市温泉事業費特別会計予算（予算額 74,565千円）	原案可決
20	平成22年度鳥取市観光施設運営事業費特別会計予算（予算額 69,275千円）	原案可決
21	平成22年度鳥取市介護老人保健施設事業費特別会計予算（予算額 81,811千円）	原案可決
22	平成22年度鳥取市後期高齢者医療費特別会計予算（予算額 1,790,075千円）	原案可決
23	平成22年度鳥取市水道事業会計予算（予算額 6,493,647千円）	原案可決
24	平成22年度鳥取市工業用水道事業会計予算（予算額 29,211千円）	原案可決
25	平成22年度鳥取市病院事業会計予算（予算額 8,888,996千円）	原案可決
26	平成21年度鳥取市一般会計補正予算（第7号） （補正前 89,517,479千円 補正額 △132,763千円 補正後 89,384,716千円）	原案可決
27	平成21年度鳥取市土地区画整理費特別会計補正予算（第1号） （補正前 402,009千円 補正額 △10,777千円 補正後 391,232千円）	原案可決
28	平成21年度鳥取市下水道事業費特別会計補正予算（第4号） （補正前 10,792,432千円 補正額 △92,975千円 補正後 10,699,457千円）	原案可決
29	平成21年度鳥取市簡易水道事業費特別会計補正予算（第4号） （補正前 674,361千円 補正額 △17,163千円 補正後 657,198千円）	原案可決
30	平成21年度鳥取市公設卸売市場事業費特別会計補正予算（第1号） （補正前 47,016千円 補正額 △1,015千円 補正後 46,001千円）	原案可決
31	平成21年度鳥取市駐車場事業費特別会計補正予算（第3号） （補正前 38,721千円 補正額 218千円 補正後 38,939千円）	原案可決
32	平成21年度鳥取市国民健康保険費特別会計補正予算（第4号） （補正前 17,579,205千円 補正額 97,914千円 補正後 17,677,119千円）	原案可決
33	平成21年度鳥取市老人保健費特別会計補正予算（第2号） （補正前 103,705千円 補正額 △46,198千円 補正後 57,517千円）	原案可決
34	平成21年度鳥取市高齢者・障害者住宅整備資金貸付事業費特別会計補正予算（第1号） （補正前 14,663千円 補正額 △9,781千円 補正後 4,882千円）	原案可決
35	平成21年度鳥取市住宅新築資金等貸付事業費特別会計補正予算（第1号） （補正前 101,862千円 補正額 7,784千円 補正後 109,646千円）	原案可決
36	平成21年度鳥取市墓苑事業費特別会計補正予算（第1号） （補正前 31,865千円 補正額 32,762千円 補正後 64,627千円）	原案可決
37	平成21年度鳥取市集落排水事業費特別会計補正予算（第3号） （補正前 2,981,966千円 補正額 △19,514千円 補正後 2,962,452千円）	原案可決
38	平成21年度鳥取市介護保険費特別会計補正予算（第3号） （補正前 13,624,819千円 補正額 △36,858千円 補正後 13,587,961千円）	原案可決
39	平成21年度鳥取市財産区管理事業費特別会計補正予算（第2号） （補正前 12,367千円 補正額 △1,210千円 補正後 11,157千円）	原案可決
40	平成21年度鳥取市温泉事業費特別会計補正予算（第1号） （補正前 89,011千円 補正額 △1,156千円 補正後 87,855千円）	原案可決
41	平成21年度鳥取市観光施設運営事業費特別会計補正予算（第3号） （補正前 70,550千円 補正額 3,635千円 補正後 74,185千円）	原案可決
42	平成21年度鳥取市介護老人保健施設事業費特別会計補正予算（第1号） （補正前 81,811千円 補正額 0千円 補正後 81,811千円）	原案可決
43	平成21年度鳥取市後期高齢者医療費特別会計補正予算（第3号） （補正前 1,833,375千円 補正額 △34,336千円 補正後 1,799,039千円）	原案可決
44	平成21年度鳥取市水道事業会計補正予算（第3号） （補正前 6,358,493千円 補正額 △127,540千円 補正後 6,230,953千円）	原案可決
45	平成21年度鳥取市病院事業会計補正予算（第5号） （補正前 9,359,578千円 補正額 △123,244千円 補正後 9,482,822千円）	原案可決
81	平成21年度鳥取市一般会計補正予算（第8号） 繰越明許（繰越額 6,390,089千円）	原案可決
82	平成21年度鳥取市土地区画整理費特別会計補正予算（第2号） 繰越明許（繰越額 162,940千円）	原案可決
83	平成21年度鳥取市下水道事業費特別会計補正予算（第5号） 繰越明許（繰越額 1,025,808千円）	原案可決
84	平成21年度鳥取市簡易水道事業費特別会計補正予算（第5号） 繰越明許（繰越額 55,835千円）	原案可決
85	平成21年度鳥取市観光施設運営事業費特別会計補正予算（第4号） 繰越明許（繰越額 3,685千円）	原案可決

## 建設水道分科会

水道事業について

**問** 経営の現状や水需要予測も含めた将来見通しはいかがか。

**答** 経営状況の判断においては、収益的収支やキャッシュフローを重視していく必要がある。また、将来見通しにおいては、今後、見込まれる地方公営企業の会

計基準の抜本的な見直しによる影響等を注視していく必要がある。

## 委員長報告

予算審査特別委員会当初予算を可決。委員長報告で5点について要望。

（報告抜粋）

国際交流については、本市は韓国・清州市、ドイツ・ハーナウ市との姉妹

都市提携をはじめ、経済・文化・教育等の分野において、多くの国際都市と交流を行っているが、一部で国

家間の問題がその交流に影響を及ぼしているという現実がある。交流の趣旨等精査され、本市としての考え方を示されるべきと考える。

総合支所長の権限強化について

地域の抱える緊急的な課

題に対し、総合支所が迅速かつ柔軟に対応するために、総合支所長の権限の強化が必要である。総合支所

長の権限については、今後、地域の課題等について積極的に関係課と協議していくとされているが、昨年の決算審査特別委員会の委員長

報告で要望している事項でもあり、速やかに検討され、必要な権限について付与さ

れるよう強く求める。各種事業の予算執行について

厳しい市の財政状況は、福祉保健分野における事業にも影響を及ぼし、事業費の削減も例外となっていないのが実情である。さらに事業

によっては要件が厳しいため、対象者が限られ、市民にとって非常に使いにくくなっている。特に福祉関連

ど社会的弱者が対象となってくるものが多く、各種事業の意義・目的を再認識し、現場の声・市民の思いを受け

とめ福祉・保健サービスがより市民に身近となるよう強く願うものである。

教育改革推進事業と校区再編について

校区再編の検討においては、少子化による児童・生徒数の減少が影響することが予測される。校区審議会の意見を踏まえ、教育委員会としての方針をまとめることであるが、小中一貫校・小中一貫教育も選択肢の一つとしてとらえ、本市の実情に応じた校区編成を望む。

企業誘致の促進について

昨今の景気が後退している状況において、企業誘致については難しい課題がさまざまあるが、本市の状況を見極め、既存の工業団地の活用等を含め実情に即した社会資本の整備や、産学連携における人脈の活用など、より効果的な取り組みがなされるよう求める。

# 2月定例会

## 代表・各個質問

代表質問は4人以上の会派を代表して行う質問、各個質問は議員一人ひとりが行う質問です。本誌では、各議員の質問の中から、それぞれ1項目についての質問と答弁の要旨を掲載します。

なお、議事録の全文は、5月下旬より市議会ホームページから閲覧できますのでご利用ください。

代表質問	P4～5
各個質問	P6～11
福祉・医療	P6～7
教育	P7～8
環境	P8～9
観光	P9～10
まちづくり	P10
行財政改革	P11
農林業	P11

# 代表質問

## 清和会



西田 正人

- 1 平成22年度予算及び市長の所信について
- 2 行財政改革について
- 3 9次総（第9次鳥取市総合計画）について
- 4 少子化と保育園について
- 5 生活扶助（医療費）について
- 6 「全国豊かな海づくり大会」開催について
- 7 中産間地域の活性化について
- 8 農政改革について
- 9 山陰自動車道・鳥取豊岡宮津自動車道について
- 10 本市の公共交通の現状について
- 11 可燃物処理場について
- 12 特別支援教育支援員配置事業について
- 13 今後の水道事業の健全経営について
- 14 市立病院について

## 平成22年度 予算及び市長の 所信について

**問** 平成22年度当初予算は市長選のため骨格予算となっているが、予算編成における景気・雇用について

**答**（市長） 平成22年度は骨格予算ではあるが、一定の公共事業予算を確保し、雇用については民間事業所等への人件費等の支援や緊急雇用対策を実施する。

さらに、制度融資や母子家庭自立支援給付金等、各種就業促進補助金の対前年1億7、000万円増、私立幼稚園への1億



当初予算を審議する予算審査特別委員会

円を超える就園奨励費補助金の支出等、暮らしと地域を強力に支えていく予算とした。

## 簡易水道事業の 上水道事業への 統合について

**問** 平成28年度末までに簡易水道事業を上水道事業へ統合すると発表されたが、今後の統合計画とメリットについて尋ねる。

**答**（市長） 国庫補助金交付要綱が変更され、平成28年度末までの簡易水道整備については、上水道事業へ

## こう風



房安 光

- 1 平成22年度一般会計予算について
- 2 8次総（第8次鳥取市総合計画）における数値目標について
- 3 山陰海岸の世界ジオパークネットワークへの加盟について
- 4 医療と福祉のサービスの融合について
- 5 国民健康保険費特別会計について
- 6 簡易水道事業の上水道事業への統合について
- 7 可燃物処理施設について
- 8 中高一貫校について
- 9 病院改革プランについて

の統合計画を今年度末までに策定し、国の承認を受けることが必要となった。

このため、協議を重ねた結果、統合することとなった。

（水道事業管理者） 都市部や農村・漁村部などの地域を問わず、等しく均一の水



鳥取市気高地域に整備されている簡易水道施設



対象年齢の引き上げが期待される子どもの特別医療費助成制度

まで、対  
校就学前  
の子ども  
の子ども  
の子ども

**問** 現在、小学校入学前までが対象年齢となっている

**答** (市長) 子どもの医療費助成については、20年4

## 市民の健康

### 1775

子どもの医療費助成について、対象年齢の拡大に向けて取り組む考えがあるのか尋ねる。

- 暮らしと地域を支える“人を大切にする予算”について
- 市庁舎建設について
- ドクターヘリの共同運航について
- 市民と協働のまちづくりについて
- 中山間地域の支援策について
- 市民の健康について**
- 安心して老後を暮らせる社会について
- 雇用と生活安定の確保について
- 観光振興策について
- 地球温暖化対策について
- 子どもの未来を育む教育について
- 子育て支援策について
- 安全で安価な水の供給について

## 公明党



武田 えみ子

象年齢を引き上げている。子育て支援の充実を図るには、対象年齢の引き上げが重要であり、積極的に県と協議し、実施に向け方向性を出したい。県は積極的な引き上げ方針もあり、連動した取り組みを進めたい。

## 民主・民世会



寺垣 健二

- 地域主権について**
- 一括交付金について
- 「定住自立圏構想」について
- 事業仕分けについて
- 「障がい者総合福祉法(仮称)」について
- 「鳥取三洋」について
- 「鳥取環境大学」について
- 「砂像」のあり方について
- 観光開発について
- 生ごみ処理施設の導入について
- 学校編成について

## 地域主権について

**問** 現政権が方向性を示す「地域主権」に対する考え方を尋ねる。また自由な裁量権が市に付与される中、より市民目線での事業形成が必要と考えるがどうか。

**答** (市長) 地域主権は、本市など基礎自治体が自ら考え、自ら決定できるよう、国の権限や財源を地方に移譲するなど、国と地方の関係を抜本的に転換していく考え方だと認識している。基準等の撤廃は、地域の実情に応じた取り組みを可能とする意味では歓迎しており、時代に合わない制度が見直される方向に進むことを期待したい。



## 市民会議



中村 晴通

- 雇用対策について
- 観光白書について
- 公民館について
- 中山間地域対策強化方針について
- 学校給食調理業務民間委託について
- 学校給食地産地消について
- 教育委員会事務の自己点検、評価報告について
- 国保会計について**
- 農業政策について
- 交通対策について

## 国保会計について

**問** 国保会計の赤字は、未収金、不納欠損金にかかる部分が大きい。未収金回収について、より一層の努力が必要と考えるがどうか。

**答** (市長) 電話催告、夜



国民健康保険の窓口

間・休日の相談窓口の開設、戸別訪問等のほか、短期保険証の交付、差し押さえや交付要求等の強制徴収等についても実施している。

従来の対策に加え、個票事務や徴収業務の効率化を図り、管理職の徴収体制強化等、収納率の目標達成に向けた取り組みを進めるとともに、医療費低減につながる取り組みを行い、国保会計健全化に努めたい。

# 各個質問

## 福祉・医療



佐治地域の医療拠点である佐治診療所

域住民の健康と命を守る大切な施設として医療サービスを行っており、大変重要な医療拠点と考えている。医師の確保については、県や鳥取大学にお願いしており、引き続き医療サービスの提供や地域医療の向上に努めたい。



谷口 輝男 (清和会)

### 佐治診療所の基本的な位置づけ

こいつ

**問** 佐治診療所は、地域住民の命と健康を守るためにも重要な役割を果たしているが、本市としてこの診療所の位置づけをどのように考えているか尋ねる。

**答** (市長) 佐治診療所は、近くに医療機関のない佐治地域の中で、地域住民の健康と命を守る大切な施設として医療サービスを行っており、大変重要な医療拠点と考えている。



児童養護施設としての役割を担う鳥取こども学園

**問** 自治体が独自で子どもの医療費助成等を行う際に、国は財政支援を行うどころか国庫負担金を減額している。国がペナルティを課すような財政的措置についてどう思うか尋ねる。



市民総合相談センターの窓口

**答** (市長) 国への対応は、自治体の単独事業の実施を大きく阻害するものであり、この減額措置を見直す

**答** (市長) 本市では児童養護施設に対し、施設整備に伴う借入金の元利償還金



入江 順子 (こう風)

### 子育て支援事業

こいつ

**問** 家庭の事情で家族と一緒に生活する事が困難になり、児童養護施設で生活する子どもたちがいるが、この施設への市の支援策と今後の対策について尋ねる。

**答** (市長) 本市では児童養護施設に対し、施設整備に伴う借入金の元利償還金

### 子どもの医療費助成について

の一部補助や児童福祉施設運営費補助金を交付する等の支援を行っている。児童養護施設は国・県の措置費により運営される仕組みであり、国・県へ助成拡充を要望するとともに、市としてのさらなる支援策についても引き続き検討したい。



伊藤 幾子 (共産党)

**問** 県では自殺対策緊急強化基金を積み立て、自殺者を減らす取り組みを行っているが、本市の取り組みや自殺予防対策への決意について尋ねる。

**答** (市長) 本市では県の基金を活用し、今年度は講演会等の開催や研修会への派遣、市民総合相談センター等での相談受付等、自殺予防の観点からの取り組みを図っている。22年度は市民アンケートを実施し、今後の対策を強化したい。



本市独自で実施している医療費助成制度

### 本市の自殺予防

こいつ



吉田 博幸 (清和会)

「いのちの電話」への支援も行っているが、地域社会での支え合いや助け合いも重要であり、地域コミュニティを強化していきたい。

### 子育て支援・教育環境について



森本 正行 (こう風)

**問** 地域主権により、地方の自由裁量の幅が広がるのが想定されるが、子育て支援や教育の環境整備に向け、本市が目指す方向について尋ねる。

**答** (副市長) 今後とも、保育園待機児童ゼロ継続による子育てと仕事との両立支援とともに、子育て家庭に目を向けた支援施策の充実、保育園庭芝生化への取り組み等、地域ぐるみでの子育て支援を推進したい。(教育長) 校舎の耐震化を急ぎ、放課後児童クラブを

充実して潜在的な待機児童を解消し、国の施策による特別支援教育支援員を増員していきたい。

### 子どもの幸福を最優先する社会について



桑田 達也 (公明党)

**問** 里親制度の促進や里親を支援する体制拡充のため、社会保障審議会児童部会社会的養護専門委員会の報告によると制度の普及啓発活動を展開すべきとされている。本市として、今後里親制度を広めるための取り組みについて尋ねる。

**答** (市長) 国も里親制度に対する理解と制度促進を

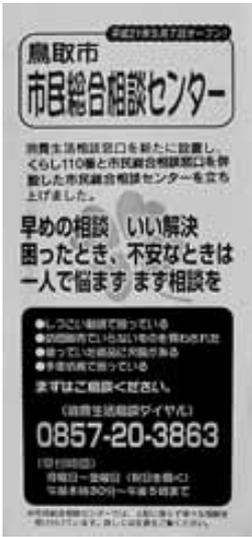
図る取り組みを進めており、本市としても鳥取県と連携しながら、里親制度について市報やケーブルテレビ等を通じた周知や、鳥取市要保護児童対策地域協議会の構成機関を通じた周知を図ってまいりたい。

### 生活困難な市民への対応について



角谷 敏男 (共産党)

**問** 本市が発送する支払いだけを求めた朱色やゴシック文字等で強調した催告書等の文面を改善するとともに、市民総合相談センターと連携し、生活相談の案内チラシ等を同封してはどう



生活相談の案内チラシ

か尋ねる。

**答** (市長) 催告書等には必ず伝えなければならない事項もあるが、市民の視点に立ち文面をさらに改善することにについて担当部署等で検討したい。

また、案内チラシ等の送付については、現在封書で送付しているもの等、可能なものについて積極的に実施を検討したい。

### 医療と福祉の連携について



谷口 秀夫 (公明党)

**問** 医療現場である市立病院と介護現場との連携についての課題を尋ねる。

また、連携強化のため情報交換方法のマニュアル化が必要と考えるがどうか。  
**答** (病院事業管理者) 現状では、医療措置依存度が高い在宅療養患者に対する

十分な体制が取れていない。今後は体制強化を図り、介護現場との連携を強める等、支援を充実させたい。  
(市長) 入院時連携シートの導入等、地域の医療と福祉を連携させる体制を築く必要があると考えており、取り組みを進めたい。

## 教 育

### 教育行政について



福田 泰昌 (清和会)

**問** 小中一貫校・湖南学園の高評価を、今後の小中一貫教育にどう生かしていくのか。また、児童・生徒の減少が懸念される中山間地等に、新たに小中一貫教育



介護現場との連携を強める市立病院



小中一貫教育の取り組みが評価されている湖南学園

を検討してはどうか尋ねる。

**答** (教育長) 小中一貫教育は、校舎はそのまま教育課程部分の連携交流を進めていく取り組みであり、中学校区の実情に応じて工夫しながら、市内全中学校区への導入を考えている。

また、新市域や中山間地等にこそ、地域を基盤にした小中一貫教育が必要ではないかと考えている。

### 小学生の社会 スポーツ活動 について



上杉 栄一  
(こう 風)

**問** 一部過熱化している小学生社会スポーツ活動について、校区ごとに学校や指導者、保護者、地域団体等で連絡協議会を立ち上げ、情報交換、連携を密にすべきと考えるがどうか。

**答** (教育長) 平成7年から校区単位の連絡協議会が立ち上がってきたが、未設



小学生のスポーツ活動について開催された討論会

置の校区や活動が停滞している校区もある。

小学生スポーツ活動を健全な形で発展させるには、関係者の連携や意思疎通が重要であり、クラブスポーツの拠点となる各小学校区連絡協議会が設立され、機能していくよう、積極的に関わっていききたい。

### 鳥取環境大学を核 としたまちづくり について



田村 繁己  
(公明党)

**問** 学生数が減っている

中、アパート業界も厳しい状況である。学生の居住促進のため、補助制度を設け学生アパート確保を進めた経過もあり、新たな支援策が必要と考えるがどうか。

**答** (市長) 本市の支援を受け、学生アパートを建設した方へは、何らかの支援が必要と認識している。

今後大学周辺のアパート経営の状況を正確に把握し、市としての支援策について検討していききたい。

また、地域振興の観点から留学生の受け入れ等、新たな活用策についても検討したい。



地域振興の期待がかかる鳥取環境大学

### 教職員の多忙化の 是正について



秋山 智博  
(無所属)

**問** 教職員の各種勤務実態調査によると、時間外勤務は50時間を超えている。

多忙化に対する現状と認識、労働安全衛生法が遵守されているかどうか尋ねる。

**答** (教育長) 教員の多忙化は非常に深刻だが、それを防ぐために、加配職員、スクールソーシャルワーカーにより教員の負担を軽くする努力をし、教育に熱中できる環境をつくっている。また労働安全衛生法を当然遵守し、勤務実態は職員が複数の役割や仕事をもつがひと月45時間という基準はオーバーしていない。

## 環

## 境

き、調査に入ることが現時点でとるべき使命だと思っている。

### ごみ問題解決と 住民合意形成 について



村口 英子  
(共産党)

**問** ごみ処理施設の設置については、1カ所への負担の解消と、災害や事故等のリスクを分散させるため、2カ所以上にすべきである。新たな施設を求め、住民合意を図るべきと考えるがどうか。

**答** (市長) これまでの議論から、ごみの減量化や道路整備等、社会状況の変化により、施設は1カ所が合理的との判断がなされている。

国英地域での環境影響評価について関係集落、地権者集落を中心に理解いただ

### 可燃物処理施設 について



上田 孝春  
(民主・民世会)

**問** 2期目の市長の重点施策であった可燃物処理施設について、4年の任期中に方向性を出せなかった。

**答** (市長) 4年間でできなかったことに関する責任は率直に認めるが、こうした事業は、きめ細かく賛成、反対の両方の意見を聞き、説明するなど努力を重ねていくことが重要であると思っている。

このことに対する責任について認識を尋ねる。

環境不安に  
対する説明も  
必要であり、  
地域振興策は  
東部広域が用  
意している。  
地元の方の意  
見に応えなが  
ら前進を図り  
たい。



湖山川の水門

### 湖山池の水質

こつこつ



児島良議  
(市民会)

**問** 湖山池水質悪化の原因

が、湖山川の水門であるとの漁業権侵害訴訟判決から既に12年経った。本市が主体となり、県と協力して早急に抜本的対策を取るべきと考えるがどうか。

**答** (市長) 湖山池の汽水

湖化を全面的に進めるよう早急に考え方をまとめ、湖山川の水門を開放し、水質を浄化し、豊かな水産資源の復活を図られ、市民に親しまれる湖山池になるようにしたい。

そのために既存の農業者に対し、農地の借り上げや水田農業からの転換支援等、抜本的な対策も選択肢だと考えている。



防犯灯として用いられているLED電球

### 環境政策について



河根裕二  
(公明党)

**問** LED電球導入に対する市民レベルへの支援は、省エネ推進と同時に、消費拡大にもなり、企業支援にもつながる。太陽光発電等と同样に補助制度を創設すべきと考えるがどうか。

**答** (市長) LED電球を

市民が購入する場合の補助については、太陽光発電等の補助と組み合わせた制度を導入したい。

LED照明製品の普及促進が、地元産業の振興と地球温暖化対策につながり、防犯灯等への導入では町内会等も恩恵を受ける、いわば一石三鳥といった形で進められるよう、重点的施策に位置づけたい。

### 観

### 光

### 国際マンガサミット 鳥取大会について



両川洋々  
(民主・民世会)

**問** 平成24年に開催される国際マンガサミットを控え、来年にはプレ大会が開

催される。谷口ジロー氏の「父の暦」映画化と併せて観光鳥取の起爆剤とすべきと考えるがどうか

**答** (市長) 国際マンガサミットの開催は「まんが王国とつとり」というキャッチフレーズで事業推進する鳥取を世界にアピールできるチャンスである。マンガサミット事務局や県と連携し、事業の内容を検討したい。



谷口ジロー氏が描いたポスター

また、「父の暦」映画化は、観光振興において効果が高く、

本市も映画化推進事業を鳥取フィルムコミッションと共同で実施したい。

### 因幡・但馬地域広域 連携による文化観 光圏構想について



長坂則翁  
(民主・民世会)

**問** 文化観光圏構想の見地から、中世に小沢見と奥沢見との境に存在した、文化的価値のある大崎城跡に散策道等を設置し、白兔海岸周辺エリアを整備してはどうか尋ねる。

**答** (市長) 白兔海岸周辺整備事業については、平成7年に基本計画が策定されたが、現在は凍結され、大がかりな開発や整備は考えていない。白兔海岸周辺の土地の取り扱いについては、来年度検討し、方向づけを行うが、大崎城等までエリアを広げた整備については、現在のところ困難が

多いと認識している。



文化財として価値のある大崎城跡

### 入湯税について



森田 紘一郎 (市民会議)

**問** 入湯税は、市の財政に大きく寄与している。入湯税を納める特別納税義務者である温泉施設運営者に対し、感謝の意を具体的に表すべきと考えるがどうか。  
**答** (市長) 入湯税は目的税であり、実際に税金を負

担する温泉利用者や、これに納める温泉事業者に間接的に還元される仕組みになっている。  
今後、さらに一歩踏み込み温泉旅館等への支援・育

## まちづくり

成策について、6月補正予算等で創設することを考えている。具体的な支援策は、関係者の皆さんと今後詰めていきたい。

### (仮称)河原工業団地の利用について



高見 則夫 (清和会)

り組みたい。また、誘致後の跡地利用については、市民が集い、憩えるスポーツレクリエーションや市民コミュニティ施設、緑に親しむような施設が考えられるが、まずは、工業団地予定地として整備を進めていきたいと考えている。

### 整備予定の工業団地について、平成25年開催の「全国緑化フェア」の主会場として複合的に活用し、終了後には市民が憩い集う、交流拠点に整備すればいいと考えるがどうか。

**答** (市長) 緑化フェアの誘致に一層力を入れ、計画や内容を具体化させ、県と連携して市内での実施に取



緑化フェアの跡地が有効活用されている 栃木壬生(みづ)総合公園

### 中山間地域の振興について



金谷 洋治 (清和会)

**問** 中山間地域対策強化方針案に掲げている強化対策を実現するためには、推進体制の整備が必要であるが、この強化施策をどのように推進し、実現していくのか尋ねる。  
**答** (市長) 組織体制として、企画推進部の地域振興室を独立した課に位置づけ、人員体制を強化したい。

これに併せて、企業や大学、研究所、商工団体、農業団体、ボランティア団体等と連携を深め、地域のまちづくり協議会や、地域住民と協働して中山間地域対策の推進に努めていきたい。

### 中山間地域振興対策について



上紙 光春 (清和会)

は、思い切った対策が必要な場面もあり、第9次総合計画の中で位置付けて進めていきたい。  
地域の皆さんと連携しながら、他の地域で成功している事例等を十分学び、施策の展開を力強く推進していきたい。



むらまち交流のため開催されたマイナスイオンツアー

**答** (市長) これからの中山間地域対策は、思い切った対策が必要であるが、これを第9次総合計画に位置付けるべきと思うがどうか。

**問** 中山間地域振興のためには、道路整備をはじめ、医療拠点の強化、企業誘致、農家等の転業・転職、地



鳥取市総合計画 (写真は第8次)

# 行財政改革

## 鳥取市土地開発公社の保有資産

120億円



湯口 史章  
(清和会)

**問** 土地開発公社は、長期間の土地保有により、金利負担が大きくなる。長期保有土地の状況とこの解消に向けた、この1年間の取り組みについて尋ねる。

**答** (市長) 現状確認のためプロジェクトチームを設置したほか、庁内対策会議で、平成23年度から平成27年度までに長期保有土地の解消を進める方針を決定したところである。

なお、分譲地にモデル住宅を建築し、団地見学やお試しし定住に取り組みとともに、分譲地の一部売却を継

続的に進め、長期保有の解消に努めている。



モデル住宅を建築した湯川団地 (鹿野町)

## コンビニエンスストアへの行政事務の委託について



下村 佳弘  
(清和会)

**問** コンビニエンスストアへの行政事務委託は、休日や深夜等に各種料金収納や住民票発行等が行える等メリットは大きい。住民サービス向上のため、本市も導入してはどうか尋ねる。

**答** (市長) コンビニエンスストアでの料金収納については、第5次行財政改革大綱において、別様式制定や取扱手数料等のコストとニーズ等の効果を見極め、活用を検討したい。

なお、住民票交付等は、総合支所、本庁舎の証明

# 農 林 業

## クレイ射撃場

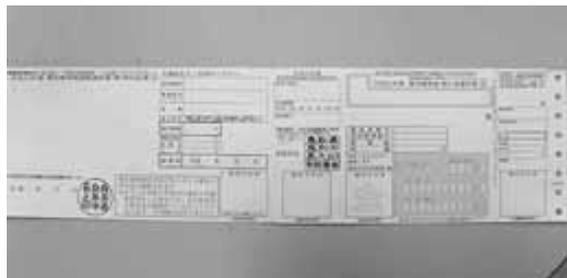
1200坪



有松 数紀  
(清和会)

**問** 昨年4月に鉛が検出されたクレイ射撃場について

コーナー、2つの郵便局で行っており、この体制の充実に考えていきたい。



コンビニ納付が検討される市税

また、今後の施設のあり方について尋ねる。

**答** (市長) 施設の必要性は県東部1市4町とも認識しており、鳥取県東部定住自立圏共生ビジョンの有害

鳥獣対策として施設確保対策を位置づけ、県と協議していく。

(教育長) 施設内からため池部の土壌で基準を超える鉛が検出されたが、水質及び下流域の土壌では基準以下であった。今後は、ため池下部の河川の定期的な水質調査を実施していきたい。

## 地産地消の推進と総合支所のあり方について



川瀬 滋子  
(きずな)

**問** 総合支所に地産地消推進事業の担当者を配置してはどうか。また、総合支所長を部長級にして予算等の権限を与えることが、総合

支所と地域の活性化につながるかと考えるがどうか。

**答** (市長) 地産地消の取り組み強化のため、総合支所の果たす役割は重要である。事業担当者を配置し、新たに地産地消担当者会を設置したい。

総合支所長の権限強化については、意見として伺う。今後とも本庁と総合支所との連携を強化し、政策課題の推進と実行に努めたい。



今後のあり方が問われるクレイ射撃場

# 議会改革等検討会報告

## 議会改革に関する事項の 中間報告について

本議会改革等検討会は、鳥取市議会の活性化を図るため、議会の改善・改革について検討を重ねました結果、一部の事項について一定の結論に至りましたので、中間報告します。

### 中間報告（第3次）

#### 議会運営の先例・ 慣習について

#### ■正副議長に関する事項

#### 正副議長選挙における立 候補制について

現在、正副議長は地方自治法に基づき選挙により選出しているが、立候補や所信表明の機会がない中、市民には選出に至る経過が分かりづらく、より開かれた議会のあり方が求められている。

そのため、正副議長の選出過程の透明化を図り、市民に説明責任を果たすことができるよう、正副議長の

選挙において立候補制を導入することが望ましいと考

#### 政務調査費

#### について

#### ■政務調査費に関する事項

#### 政務調査費の使途について

本議会では、平成16年10月より、政務調査費の収支報告書に領収書等の証拠書類の提出を義務付けるよう条例を改正し、政務調査費の適正使用に取り組んできたところである。

さらに、市民に対して政務調査費の使途基準をより明らかにするため、全国市議会議長会の意見や判例を参考にした具体的な使途基

準（たとえば内規である事務取扱基準）を規則や要綱等の公表できるものに組み入れ、公開するよう検討すべきである。

#### 議会の情報公開 について

#### ■委員会に関する事項

#### 常任委員会・特別委員会 会議録のホームページ公 開について

現在、本会議の会議録についてはホームページで公開しているものの、常任委員会・特別委員会の会議録については、会議室の形態や録音機器の性能による録音状態の不明瞭さや、本議の会議録を優先すること

による定期的なずれを踏まえ、ホームページでの公開ではなく、開示請求があつてはじめて会議録を公開している現状である。

常任委員会・特別委員会の会議録のホームページでの公開は、広く市民に議会を公開し議会の透明性を高めることにつながるため、

テープ起こし等に時間がかかって、前向きに取り組むべきと考える。

その際、マイク装置等の機器整備は不可欠であり、それも含めて検討すべきである。

#### ■情報公開に関する事項

#### 議会の情報公開について

現在、議会改革等検討会の検討項目に本会議のインターネット・オンデマンド

放送や議会独自のホームページの開設等、議会の情報公開に関する項目が数多くあがっている。

そのため、市議会の広報全般のあり方について、現在の市議会だより編集委員会も含めた形で幅広く検討する組織（たとえば市議会広報委員会等）の設置を提言する。

### 中間報告（第4次）

#### ■情報公開に関する事項

#### 議会の情報公開について

先般行った第3次報告で、市議会の広報全般のあり方について、現在の市議

会だより編集委員会も含めた形で幅広く検討する組織（たとえば市議会広報委員会等）の設置を提言したものであるが、その組織において、議会改革等検討会で

議会の情報公開に関する事項としてあげられていた下記の項目についても検討するべきと考える。

(1) 議会独自のホームページ開設

(2) 議員の議案に対する賛否公開及び討論の市議会だより並びにホームページへの掲載

(3) 常任委員会・特別委員会の会議録のホームページでの公開

(4) 視察報告書のホームページへの掲載

(5) 本会議のインターネット・オンデマンド放送

(6) 本会議最終日のCATV放送

(7) 委員会のCATVやインターネットでの中継

## 議員トピックス

### ■議員研修会を開催

3月24日、本市の市議会議員研修会を開催しました。

研修会では、講師に国際プレゼンテーション協会理事長の八幡紘声史氏を迎え、「プレゼンテーションで聴き手を惹きつける」オバマ大統領の演説に学ぶ」を演題に、プレゼンテーションや聴き手を惹きつける技術等について講義が行われました。

参加議員は、今後の議員活動に早速活用できる「伝える技術」の獲得を目指し、熱心に講義に参加していました。



八幡紘声史氏を講師に迎え行った議員研修会

## 2月定例会で

### 議案に対し付言

#### 【建設水道委員会】

議案第71号「鳥取市営駐車場の指定管理者の指定について」及び議案第79号「議案工事請負契約の締結について」

市営片原駐車場の設計・建設・維持管理運営事業者を公募型プロポーザルにより決定し、それぞれの契約を行う方式が本市で初めて

実施された。

執行部においては、本市における指定管理者選考委員会の制度設計のあり方、事業の発注におけるさらにわかりやすい条件明示のあり方など、委員会での議論を通じて様々な意見を十分認識されたと思う。

このような新規の方法・手法により事業を行う場合には、市民に対し、しっかりと説明責任が果たされるよう、その事務の執行にあ

たっては、慎重かつ適正に取り扱われることを要望する。



市営片原駐車場の完成予想図

## 議会クローズアップ

二月定例会で可決された条例の内容をわかりやすく紹介

紹介

### 鳥取市国民健康保険条例の一部改正について

#### 【改正の経緯】

今回の改定は、新型インフルエンザの流行や高度医療の普及などによる医療費の急激な増加により、保険料率を引き上げざるを得な

い財政状況になったためです。

改正前 ↓ 改正後

(医療分)

●所得割

100分の5・7

↓100分の6・9

●資産割

100分の16・8

(変更なし)

●被保険者均等割

20500円

↓23500円

●世帯別平等割

23200円

↓26000円

※この条例は、平成二十二年四月一日から施行することとします。

## 人事(敬称略)

人権擁護委員(推薦)

- 三村 善信(再任)
- 鶴巻 孝永(再任)
- 西尾 憲治(再任)
- 今度 珠美(新任)

## 2月定例会で審査された請願・陳情

### 請願

#### 《不採択となったもの》

##### ・国保料を引き上げないことを求める請願

(理由) 一般会計からの安易な繰り入れは継続的な赤字解消にはなりえず他の健康保険制度との均衡を著しく損なうものであり、保健の一元化など恒久的かつ抜本的な改革が必要であると考えられるため。

##### ・中学校卒業まで子供の医療費助成の拡充を求める請願

(理由) 厳しい市の財政状況を考慮すると実施は困難であり、また助成枠の拡大は軽度な受診者の増加が予想されるため。

### 陳情

#### 《継続審査となったもの》

##### ・元鳥取警察跡地の取得に関する陳情

(理由) 旧鳥取警察署跡地については、今後鳥取県が県有未利用地検討委員会で検討予定でもあり、継続して調査研究する必要があるため。

#### 《不採択となったもの》

##### ・業務委託の要望についての陳情

(理由) 本市と岩美町との協定に基づいた業務であり、本件は岩美町が判断し解決されるべき問題である。

##### ・業務委託の要望についての陳情

(理由) 本市と岩美町との協定に基づいた業務であり、本件は岩美町が判断し解決されるべき問題である。

##### ・安心・安全な公共事業を推進するため、国土交通省の事務所・出張所の存続を求める意見書提出を求める陳情

(理由) 意見書の提出については、本市において、特に必要と認められないため。

##### ・障害者医療費助成などについての陳情

(理由) 市独自の医療助成制度については対象者の拡大といった一定の配慮も行っている。また公用マイクロバスの利用は5年間の経過措置として認めてきたが、これ以上の利用については公平性の観点から理解を得られるのは困難と考えられるため。

##### ・「道徳都市宣言」についての陳情

(理由) 道徳教育の重要性は認識するが、現状において改めて都市宣言をするまでの必要性を認めないため。

## 平成22年第1回鳥取市議会臨時会附議案議決結果

(2月1日(月)開催)

区分	議案番号	案 件 名	議決結果
予算 (1件)	1	平成21年度鳥取市一般会計補正予算(第6号) (補正前 88,801,056千円 補正額 716,423千円 補正後 89,517,479千円)	原案可決
その他 (2件)	2	財産の取得について (電子黒板機能付きプラズマディスプレイ45台(小学校) 取得金額:34,272,000円 取得の相手方:株式会社モリックスジャパン)	原案可決
	3	工事請負契約の締結について (船磯漁港沖防波堤改良工事(3工区) 消波ブロック製作及び据付 契約金額:132,023,850円 契約相手方:やまこう建設株式会社)	原案可決
報告 (2件)	1	専決処分事項の報告について (平成21年10月28日賀露町内の市道賀露右岸線を相手方車両が走行中、舗装面のはがれにより車両の右前輪が落ち、同輪のホイール及びタイヤを破損した物損事故の損害賠償の額を確定し、和解するもの(平成21年12月25日専決))	報 告
	2	専決処分事項の報告について (平成21年11月19日西町二丁目地内の市道花見橋通りを公用車がわらべ館方面へ左折中、市道西町1号線を鳥取赤十字病院方面から直進してきた相手方車両の左前部と公用車の右側面が接触した物損事故の損害賠償の額を確定し、和解するもの(平成22年1月14日専決))	報 告

平成22年2月鳥取市議会定例会附議案等議決結果（条例・その他）

区分	議案番号	案 件 名	議決結果
条 例 (19件)	4 6	鳥取市グリーンニューディール基金条例の制定について（地球温暖化対策地方公共団体実行計画に基づく対策の推進を目的として、国から交付される補助金の交付を受け入れるための基金を設置するもの）	原案可決
	4 7	鳥取市スクールバスの運行及び利用に関する条例の制定について（鹿野地域及び青谷地域で運行しているスクールバスの運行について必要な事項を定めるもの）	原案可決
	4 8	鳥取市職員給与条例及び鳥取市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について（労働基準法の改正及び国家公務員の制度改正に準じて、関連する条例の所要の整備を行うもの）	原案可決
	4 9	鳥取市行政財産使用料条例の一部改正について（行政財産の使用のうち自動販売機の設置に係るものの使用料を定めるもの）	原案可決
	5 0	鳥取市集会所の設置及び管理に関する条例の一部改正について（鳥取市市有施設の民間等への譲渡に関する取扱方針に基づき、鳥取市福部町左近集会所他1箇所を地元へ譲渡するため廃止するもの）	原案可決
	5 1	鳥取市国民健康保険条例の一部改正について（国民健康保険料の料率の改定等所要の整備を行うもの）	原案可決
	5 2	鳥取市国民健康保険診療所の設置及び管理に関する条例の一部改正について（使用料等の規定について所要の整備を行うもの）	原案可決
	5 3	鳥取市保育所条例の一部改正について（鳥取市立八上保育園の廃止に伴う所要の整備を行うもの）	原案可決
	5 4	鳥取市農産物集出荷作業場の設置及び管理に関する条例の一部改正について（鳥取市市有施設の民間等への譲渡に関する取扱方針に基づき、鳥取市気高町奥沢見農産物集荷所を地元へ譲渡するため廃止するとともに、その他所要の整備を行うもの）	原案可決
	5 5	鳥取市地域活性化施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について（鳥取市市有施設の民間等への譲渡に関する取扱方針に基づき、鳥取市国府町神護生活改善センター他5箇所を地元へ譲渡するため廃止するもの）	原案可決
	5 6	鳥取市営駐車場条例の一部改正について（鳥取市営片原駐車場再整備に伴い、駐車場の利用料金を定めるとともに、所要の整備を行うもの）	原案可決
	5 7	鳥取市特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について（特定公共賃貸住宅の空室を活用するため、家賃等の見直しを行うもの）	原案可決
	5 8	鳥取市立学校条例の一部改正について（青谷小学校南校舎を廃止するとともに、河原幼稚園と河原保育園の幼保一元化により、河原幼稚園の位置の変更を行うもの）	原案可決
	5 9	鳥取市体育館の設置及び管理に関する条例の一部改正について（鳥取市立中ノ郷体育館及び鳥取市青谷町日置谷体育館の設置及び管理並びに使用料について定めるもの）	原案可決
	6 0	鳥取市多目的スポーツ広場の設置及び管理に関する条例の一部改正について（鳥取市青谷町日置谷グラウンドの設置及び管理について定めるとともに、鳥取市青谷町ゲートボール場を廃止するもの）	原案可決
	6 1	鳥取市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について（市立病院に新たな診療科として歯科を設置するもの）	原案可決
	6 2	鳥取市公営企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について（退職手当について新たな支給制限及び返納制度を設けることとしたため、これに伴う所要の整備を行うとともに、育児部分休業に係る給与の取扱いについて所要の整備を行うもの）	原案可決
	6 3	鳥取市立病院使用料及び手数料条例の一部改正について（室料加算料の見直しを行うもの）	原案可決
	6 4	鳥取市集会所整備事業分担金徴収条例の廃止について（集会所整備事業については、合併後5年で制度を統一するとされており、一部の地域で適用されていたこの条例を廃止するもの）	原案可決
	そ の 他 (18件)	6 5	鳥取市と岩美町との定住自立圏の形成に関する協定の締結について（定住自立圏の形成に関し、鳥取市と岩美町との間で、連携する政策分野、取組内容、役割分担等について協定を締結するもの（議会の議決すべき事件に関する条例第2条の規定による議決事項））
6 6		鳥取市と若桜町との定住自立圏の形成に関する協定の締結について（定住自立圏の形成に関し、鳥取市と若桜町との間で、連携する政策分野、取組内容、役割分担等について協定を締結するもの（議会の議決すべき事件に関する条例第2条の規定による議決事項））	原案可決
6 7		鳥取市と智頭町との定住自立圏の形成に関する協定の締結について（定住自立圏の形成に関し、鳥取市と智頭町との間で、連携する政策分野、取組内容、役割分担等について協定を締結するもの（議会の議決すべき事件に関する条例第2条の規定による議決事項））	原案可決
6 8		鳥取市と八頭町との定住自立圏の形成に関する協定の締結について（定住自立圏の形成に関し、鳥取市と八頭町との間で、連携する政策分野、取組内容、役割分担等について協定を締結するもの（議会の議決すべき事件に関する条例第2条の規定による議決事項））	原案可決
6 9		字の区域の変更について（市営小倉地区ほ場整備（1工区）の換地処分に伴い、字の区域を変更するもの）	原案可決
7 0		辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について（辺地に係る公共的施設の総合整備計画の一部（高路、雨滝）を変更するもの）	原案可決
7 1		鳥取市営駐車場の指定管理者の指定について（地方自治法第244条の2第6項の規定により、鳥取市営片原駐車場の指定管理者の指定について議決を得るもの）	原案可決
7 2		鳥取市鹿野往来交流館の指定管理者の指定について（地方自治法第244条の2第6項の規定により、鳥取市鹿野往来交流館の指定管理者の指定について議決を得るもの）	原案可決
7 3		財産の取得について（鳥取市民会館大ホールのいす更新 数量 680席 取得方法 指名競争入札 取得金額 金65,100,000円 取得の相手方 株式会社玉屋鳥取支店）	原案可決
7 4		財産の取得について（史跡青谷上寺地遺跡の公園用地 土地 所在地 鳥取市青谷町吉川字東岩本15番地外32筆 地目 公園用地 地積 41,831㎡ 取得方法 随意契約 取得金額 金528,471,000円 契約の相手方 鳥取市土地開発公社）	原案可決
7 5		財産の無償譲渡について（鳥取市福部町左近集会所他1箇所を地縁による団体に無償で譲渡するもの）	原案可決
7 6		財産の無償譲渡について（鳥取市気高町奥沢見農産物集荷所を地元の団体に無償で譲渡するもの）	原案可決
7 7		財産の無償譲渡について（鳥取市国府町神護生活改善センター他4箇所を地縁による団体に無償で譲渡するもの）	原案可決
7 8		業務委託に関する協定の変更について（平成21年6月定例会で議決を得た「鳥取市公共下水道千代水クリーンセンターの建設工事に係る業務」の契約金額を減額変更するもの 業務委託の概要 終末処理場増設工事 契約方法 随意契約 現契約金額 金487,000,000円 変更後金額 金334,500,000円 契約の相手方 日本下水道事業団）	原案可決
7 9		工事請負契約の締結について（市営片原駐車場整備工事 工事概要 鉄骨造4階建 契約方法 随意契約 契約金額 金393,015,000円 契約の相手方 大和建設株式会社）	原案可決
8 6		財産の取得について（消防ポンプ自動車更新 種類 消防ポンプ車 数量 2台 取得方法 指名競争入札 取得金額 金35,112,000円 取得の相手方 株式会社吉谷機械製作所）	原案可決
8 7		工事請負契約の締結について（長和瀬漁港第1沖防波堤改良工事（1工区） 工事概要 沖防波堤上部工、被覆ブロック及び消波ブロック据付 契約方法 指名競争入札 契約金額 金131,250,000円 契約相手方 長和瀬漁港第1沖防波堤改良工事（1工区）八幡・ヤマケン特定建設工事共同企業体）	原案可決
8 8		工事請負契約の締結について（長和瀬漁港第1沖防波堤改良工事（2工区） 工事概要 沖防波堤上部工、被覆ブロック及び消波ブロック据付 契約方法 指名競争入札 契約金額 金128,520,000円 契約相手方 長和瀬漁港第1沖防波堤改良工事（2工区）八幡・ヤマケン特定建設工事共同企業体）	原案可決
人事(1件)	8 0	人権擁護委員候補者の推薦について（任期満了（平成22年6月30日）による（新任）1人（再任）3人）	同 意
議員提出 (3件)	1	予算審査特別委員会の設置について	原案可決
	2	核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書の提出について	原案可決
	3	さらなる総合経済対策の策定を求める意見書の提出について	原案可決

発行日／平成22年（2010年）5月1日 編集発行／鳥取市議会

〒680-8571 鳥取市尚徳町116番地 ☎(0857) 20-3343 FAX 20-3049

※この日程は変更になる場合があります。

23日	水	討論・採決閉会
22日	火	委員会
21日	月	委員会
20日	日	休 会
19日	土	休 会
18日	金	委員会
17日	木	一般質問・質疑
16日	水	一般質問
15日	火	一般質問
14日	月	委員会
13日	日	休 会
12日	土	休 会
11日	金	一般質問
10日	木	一般質問
9日	水	休 会
8日	火	開会・提案説明

**6月定例会のお知らせ**

**編集委員会からのお知らせ**

市民に親しまれる市議会だよりの一環として、市議会だよりの表紙写真を募集します。題材は、「市民の生活と暮らし（夏）」です。

詳しくは、鳥取市議会のホームページ（<http://www.city.tottori.lg.jp/>より）をご覧ください。

●環境標語：エネルギー 上手に使う 輝く未来